

「市民の声」をどう伝えるかの前に、「市民の声」とはどんなものを説明しなくち

Q 「市民の声」って、どのようなもの？
A 市の仕事への皆さんの思いや考え方すべてです。

皆さん、こんにちは。久しぶりに登場の藍ちゃんです。今回のテーマは「市民の声」です。この「区民の『声』、あれこれ」というコーナーでも、皆さんからいろいろな質問や疑問、要望などをいただいているけど、今回は少し幅を広げて、市役所・区役所へ私たち市民の声をどのように伝えたいかということについて説明するわ。



市役所の仕事のルールの一つに「札幌市広報広聴事務取扱規程」というものがあって、その中で「各部の長を『広報広聴主任』として、『市民の声』に対し責任を持つて回答すること」と決められているのです。だから、市役所・区役所の仕事に対する皆さんの意見や要望、質問や苦情などは、その仕事を担当する部署に直接伝えるのがいいわね。それから、市役所には「市民の声を聞く課」、各区役所には「広聴係」という部署があります。ここでは皆さんから寄せられた「市民の声」を担当の部署に届けたり、複数の部署にまたがる「市民の声」への回答を取りまとめたりする仕事などを行っているのよ。

Q 「市民の声」は、どこに伝えればいいの？
A それぞれの仕事を担当している部署などです。

やね。私たち市民は、自分たちの生活に深く関係がある市役所や区役所の仕事に対して、さまざまな疑問や感想、考えなどを持つことがよくあるけど、そういったものをすべてを「市民の声」というのよ。

私のこのコーナーの主役は皆さんの「声」です。日ごろの疑問や要望など、どしどし寄せてくださいわね。今回はどんな「声」を紹介しようかしら。それじゃあ、またね。

自分の意見や考えなどとは、それを伝えたい相手に直接言うのが一番いいわね。市役所や区役所に対しても、それは同じです。担当部署の職員と意見や考えなどを直接話すことにより、内容が正確に伝わったり、それに対する説明や回答などをすぐにしてもえたりすることもあるわ。でも「直接、話しにくい」とか「窓口で話している時間がない」という場合もあるわね。そういった場合は、手紙や電話のほか、ファクス、インターネットメールなどでも大丈夫です。自分の思いや考え方などを伝えられるものであれば、どのような方法でもいいということね。

Q 「市民の声」は、どうやって伝えればいいの？
A 電話や手紙、メールなど、どんな方法でもいいです。

「藍ちゃんメール」、始めます！

北区では、皆さまのご意見などを幅広く集めるため、北区独自の新たな取り組みとして「藍ちゃんメール」を始めます。

この取り組みは、専用紙にご意見などを記入した後、すぐに投函できるようにあらかじめ、住所などを記載しています。また、お近くの区の窓口で直接お持ちいただくことも可能です。

専用紙は、区役所庁舎内各窓口のほか、篠路出張所・各まちづくりセンターなどで配布しています。気軽に、手軽に、負担なく「市民の声」を寄せることができるものですので、ぜひご利用ください。皆さまのご意見やご要望、ご提案などをお待ちしています。

詳細 総務企画課広聴係 ☎ 北区役所内線226
Eメール ki.somu@city.sapporo.jp

